まんのう町地域公共交通総合連携計画策定事業　≪事業概要≫

1　現況把握
既存統計資料や各公共交通実績資料等による現状の把握
①地域概況　②公共交通の実態

2　住民等ニーズの把握

①住民等アンケート調査
町民約 1,000 人を対象に郵送によるアンケート調査

②利用者アンケート調査
鉄道・バス利用者を対象に、聞き取りによるアンケート調査
＜調査箇所＞
・鉄道駅（JR2 駅、ことでん 1 駅）
・バス停（2 路線各 4 箇所）
・コミニティバス

③町内主要施設アンケート調査
主要施設の利用者を対象に留置きによるアンケート調査
＜調査対象＞
病院、公共施設、温泉施設等の町内 15 施設程度

④事業者ヒアリング調査
公共交通事業者やタクシー事業者を対象にヒアリング調査

⑤自治会等ヒアリング調査
町内の自治会長等を対象にヒアリング調査

住民の公共交通の利用状況、利用意向等の把握

事業者の立場からの利用上の問題点・課題の認識、改善の方向性の把握

3　その他調査
①既存調査の収集・分析
②行政コスト調査

4　公共交通に関する課題の把握
・交通空白地域での新規交通の必要性
・既存路線の見直し、改善点の整理等

5　公共交通体系のあり方の検討
（基本構想の策定）
①公共交通の位置づけ
・住民ニーズに合った交通手段の確保
・高齢者等の交通モビリティの確保
・施設利用の利便性確保
・観光との連携　　など

②公共交通に関する基本方針の検討
・ネットワーク形成方針
・住民・行政・事業者の役割分担　など

先進地事例の調査
新システム導入、運営方式、促進方策等の参考

6　公共交通事業基本計画書の作成　（基本計画の策定）
①運行形態、ルート及びサービス水準の検討
②需要及び事業採算性の検討
③実現化方式（運行方式、スケジュール等）

・既存路線の見直し
・新規路線の運行ルートやシステム案　等の検討
↓
運営方式や利用促進方策等の実現化方策の検討

・デマンドタクシーの導入
・既存バス路線の運行見直し
・コミニティバスのデマンドへの移行
・既存バス路線とデマンド交通の連携
・鉄道新駅の設置検討　　など

パブリックコメントの実施
計画案に対する住民意見の反映

7　実証運行計画書の作成
・実証運行内容（ルート、ダイヤ、運賃等）
・利用促進策（PR チラシ、広報誌への掲載等）

地域公共交通総合連携計画の策定

Ｈ２１以降　　実証運行　⇒　本格運行へ

協議会による検討
- 第１回 第２回 第３回 協議会開催
- 第４回 協議会開催
- 第５回 協議会開催
- 第６回 協議会開催